

患者確認アンケートの集計結果

平成30年と令和7年の調査結果の比較

令和7年10月

岩国市医療センター医師会病院

医療安全管理室

回答者内訳

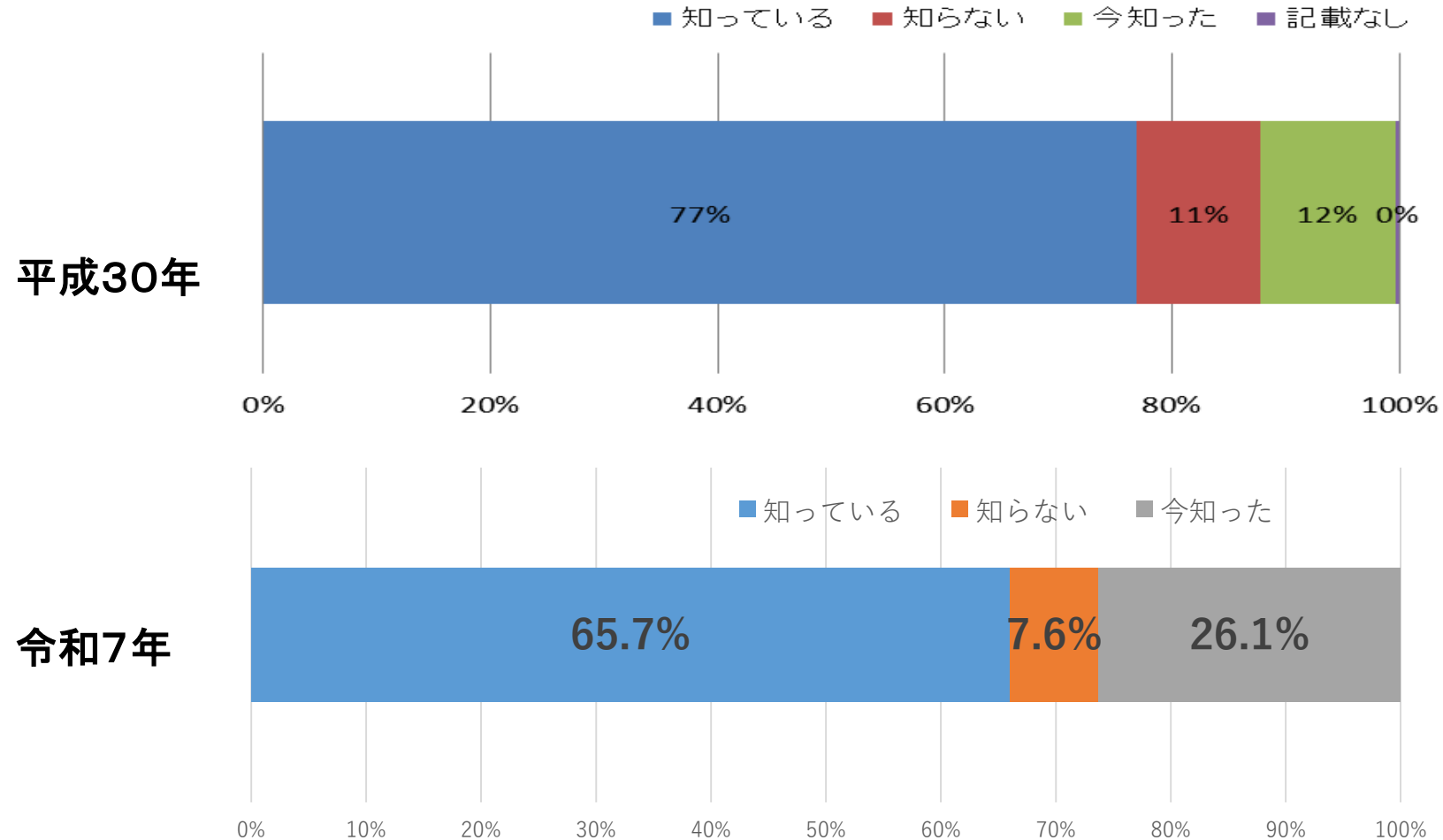
- 外来患者：**134名**
(本館31名、リハ外来11名、療育92名)
- 入院患者：**95名**
- 診療部：11名、診療部以外：298名の計**309名**

回答期間

令和7年7月14日(月)～18日(金)の5日間

患者共通

①患者に名前を名乗ってもらう活動について

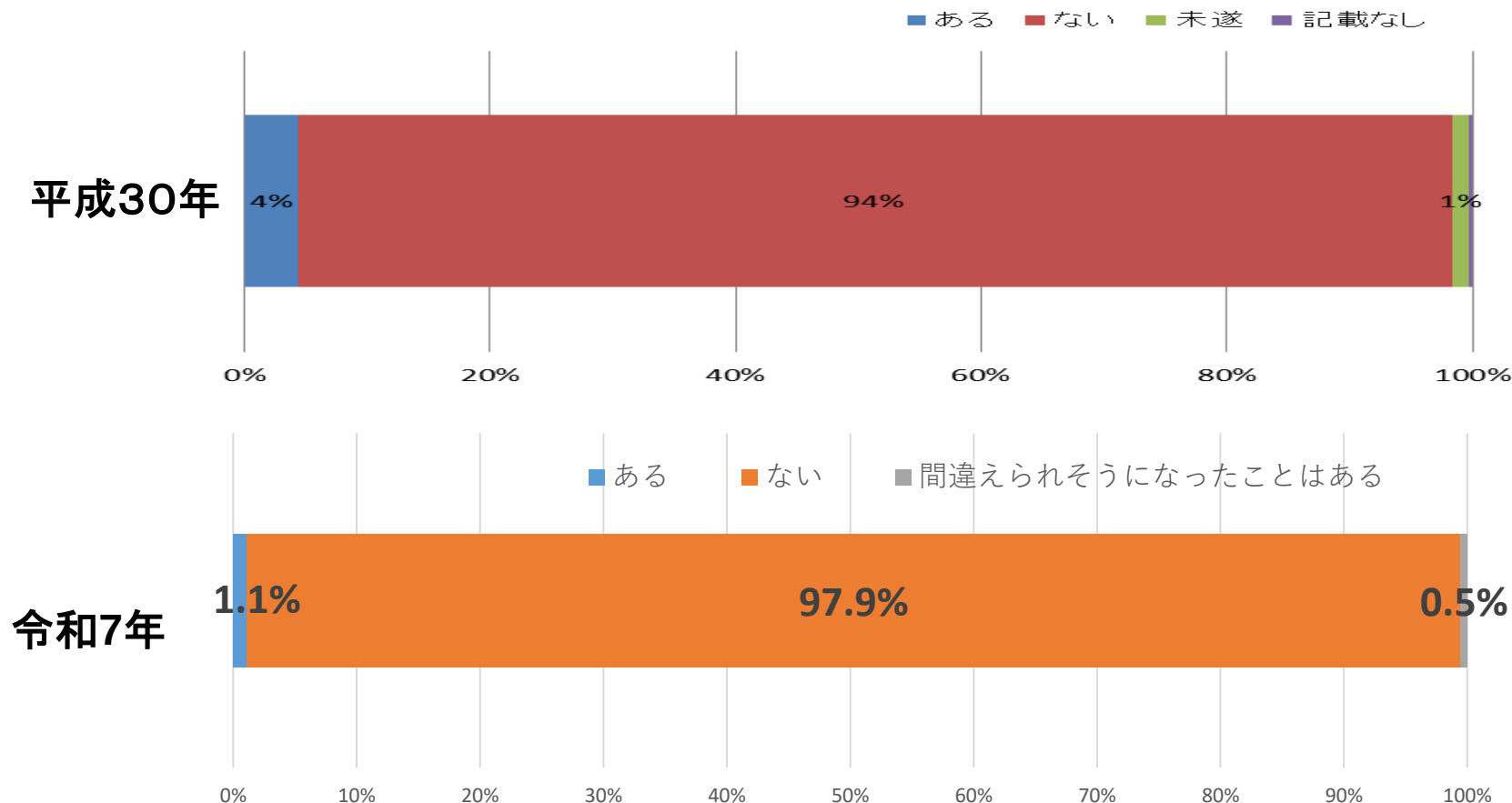


活動を知っている・知らない患者さんは減少、活動を今知った患者は倍に増加。

(療育センターの回答者が多かったことも関与していると推察)

患者共通

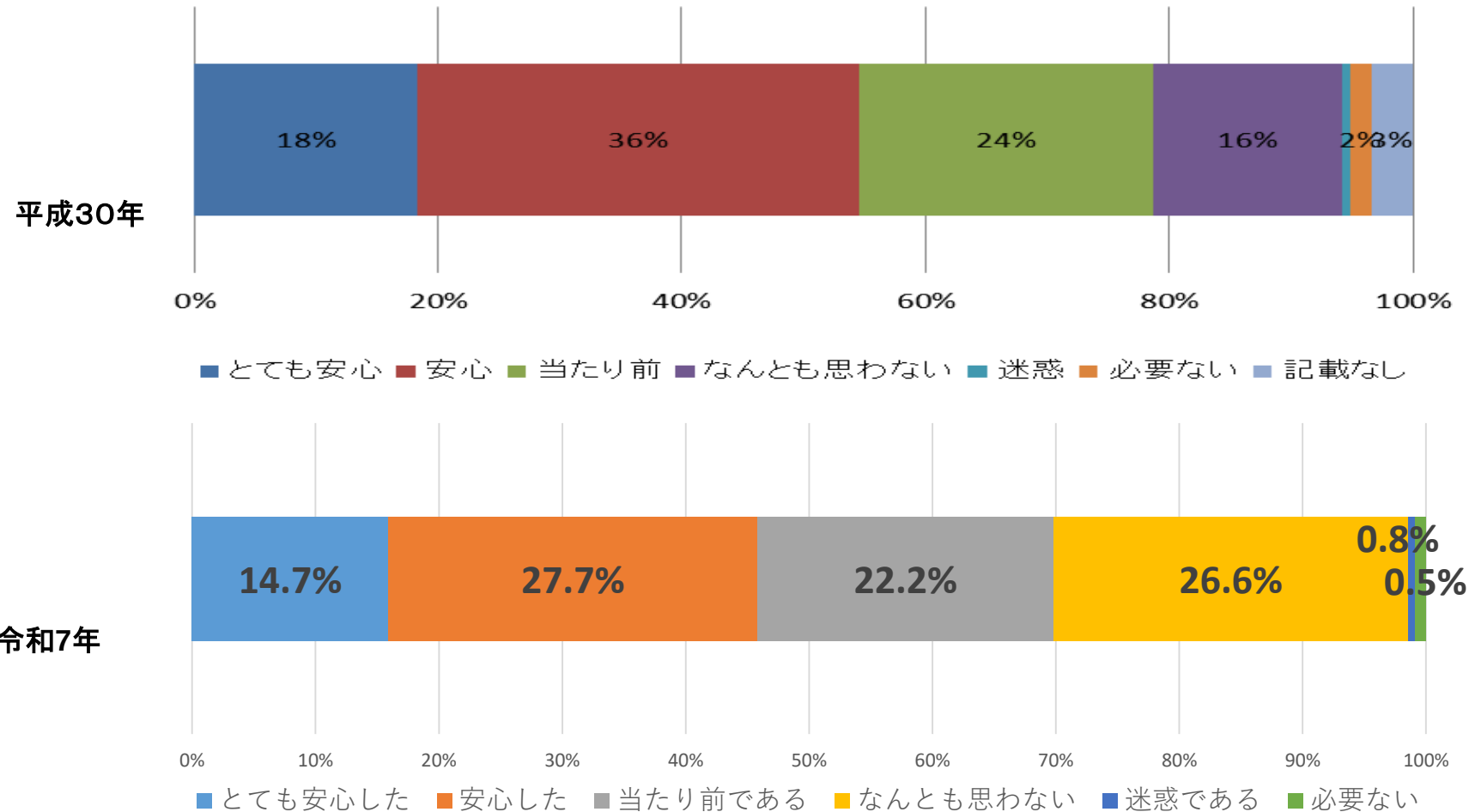
②今まで、病院や診療所で名前を間違えて診察や投薬された経験があるか



間違えられた経験、間違えられそうになった経験がある人は減少。(94%～97.9%間違えられていない)

患者共通

③毎回、名前を聞かれる事をどう思いますか？

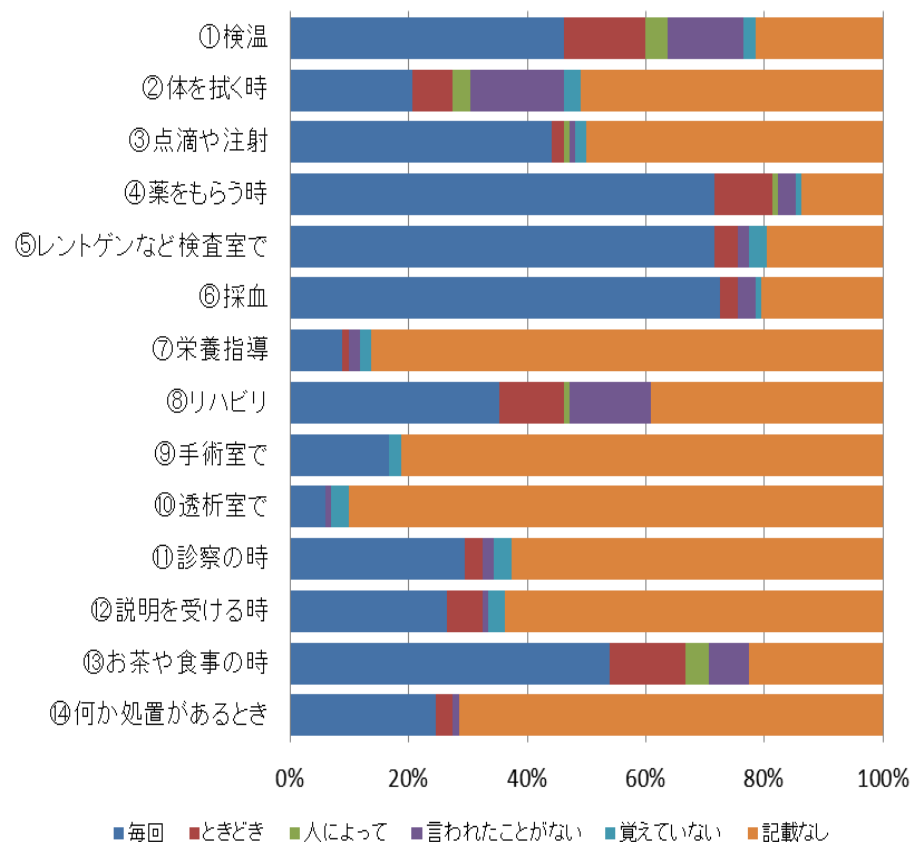


毎回名前を聞かれることに対して、肯定的な回答に変化はなく当たり前、何とも思わないが増加。

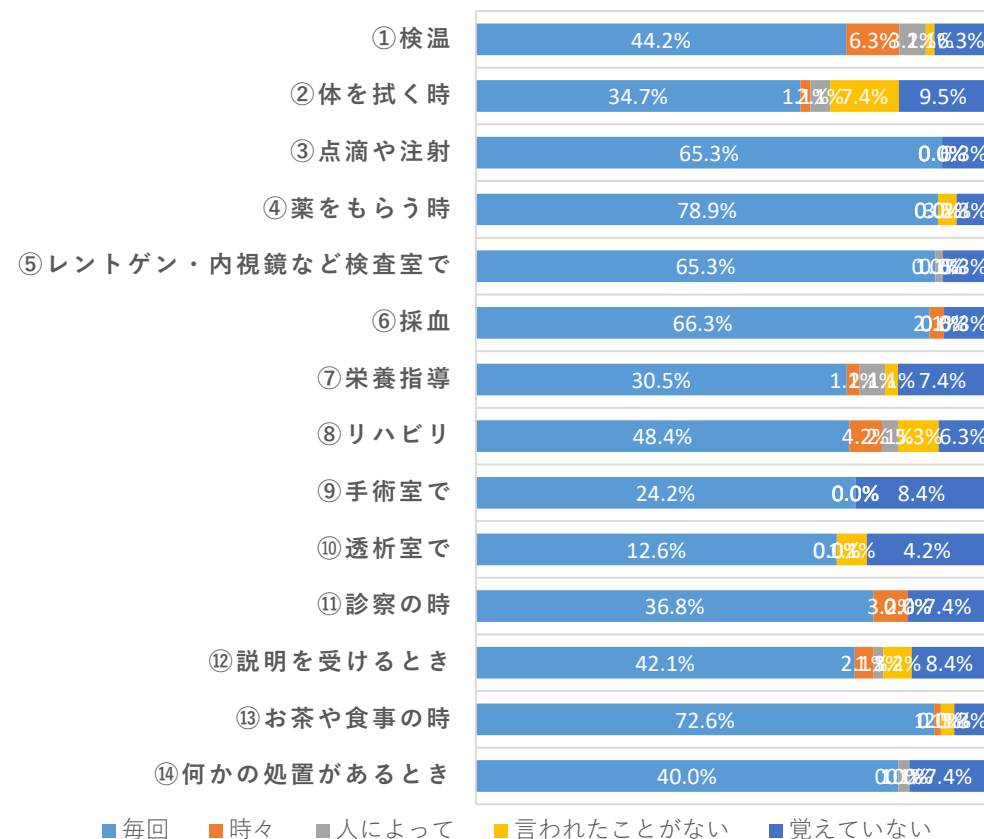
入院患者

入院中、名前を名乗るように言われた場面

平成30年



令和7年



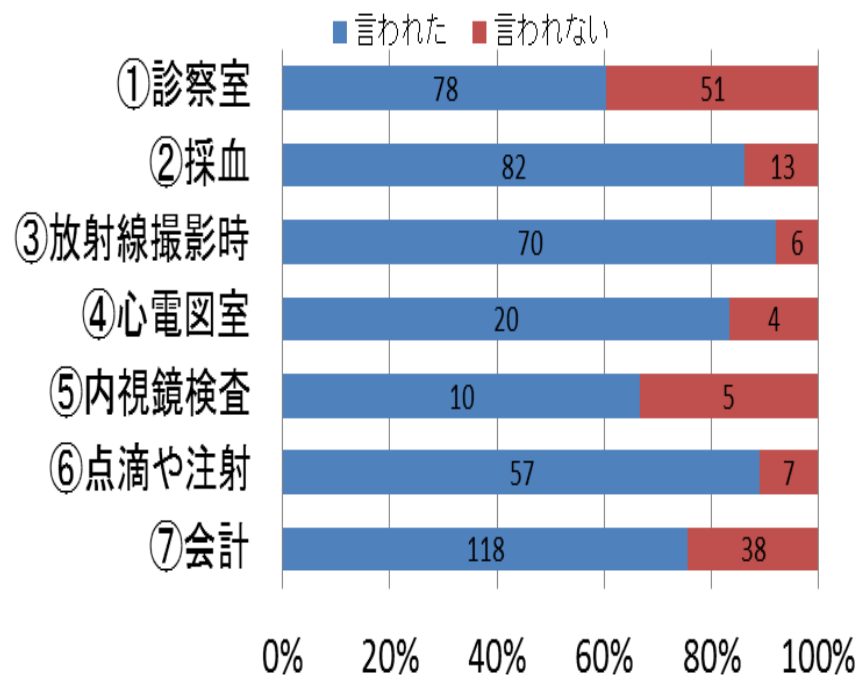
全ての項目において確認をしている事が増加、処置時や手術、透析室で多くなっている。

外来患者

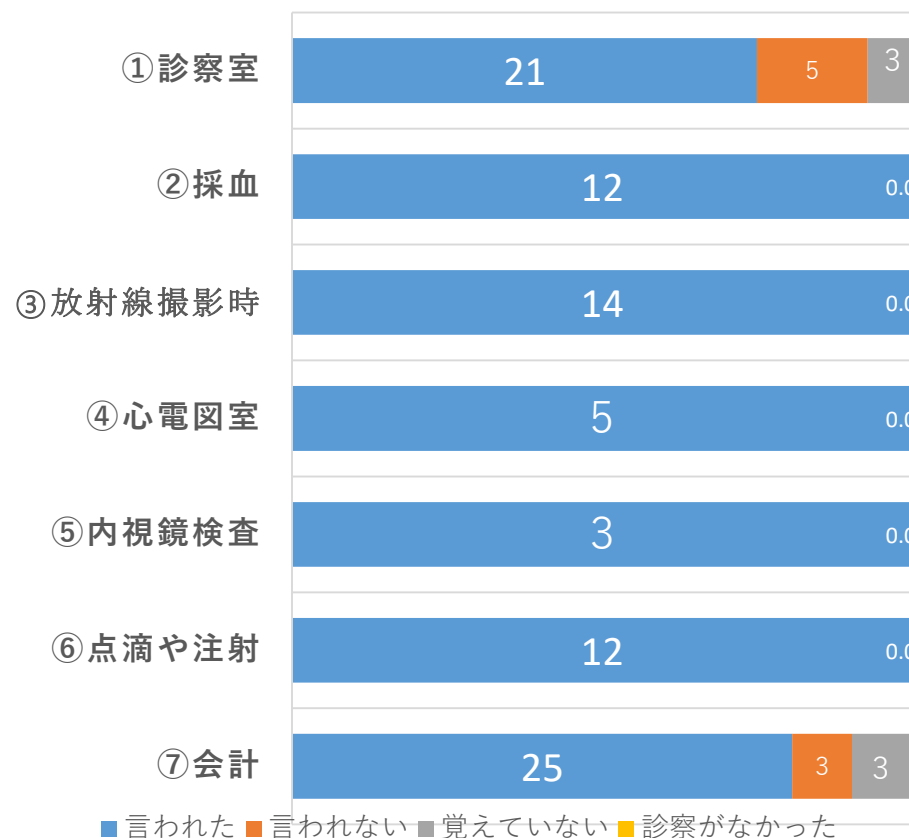
本日、この場面で名前を名乗るように言われましたか？

平成30年

図3-2 本日、この場面で名前を名乗るように言われましたか？（覚えていない、その他、記載なしは除く）



令和7年

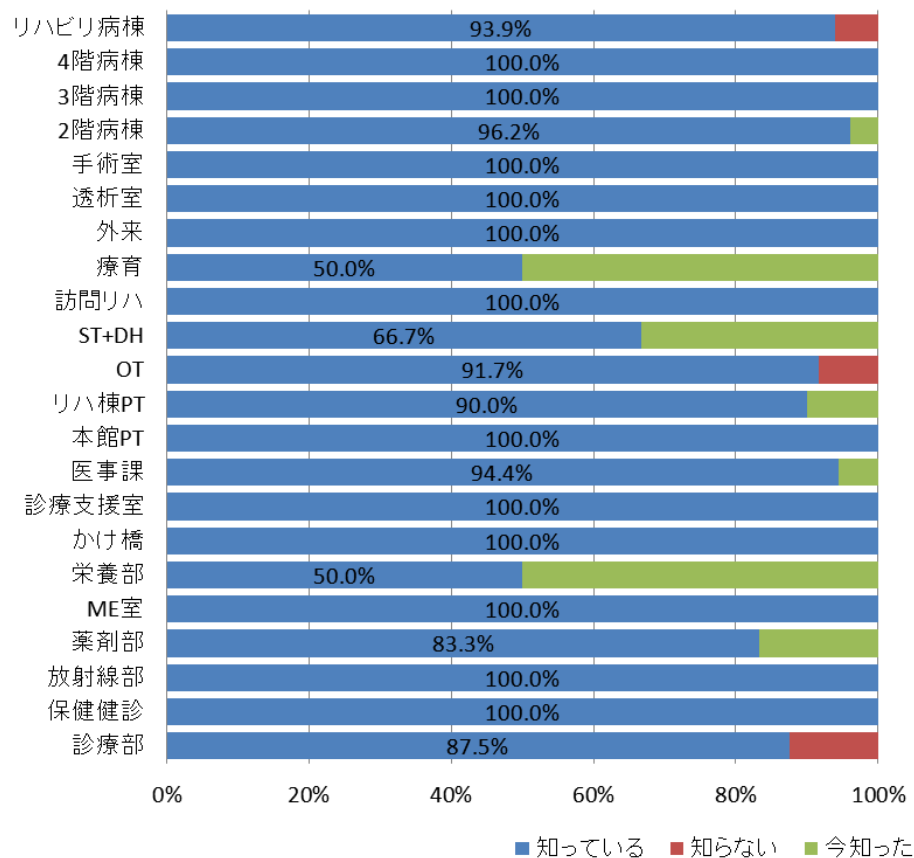


場面別をみると、傾向性に変化はなく、採血、放射線撮影等検査、処置時には100%尋ねられている

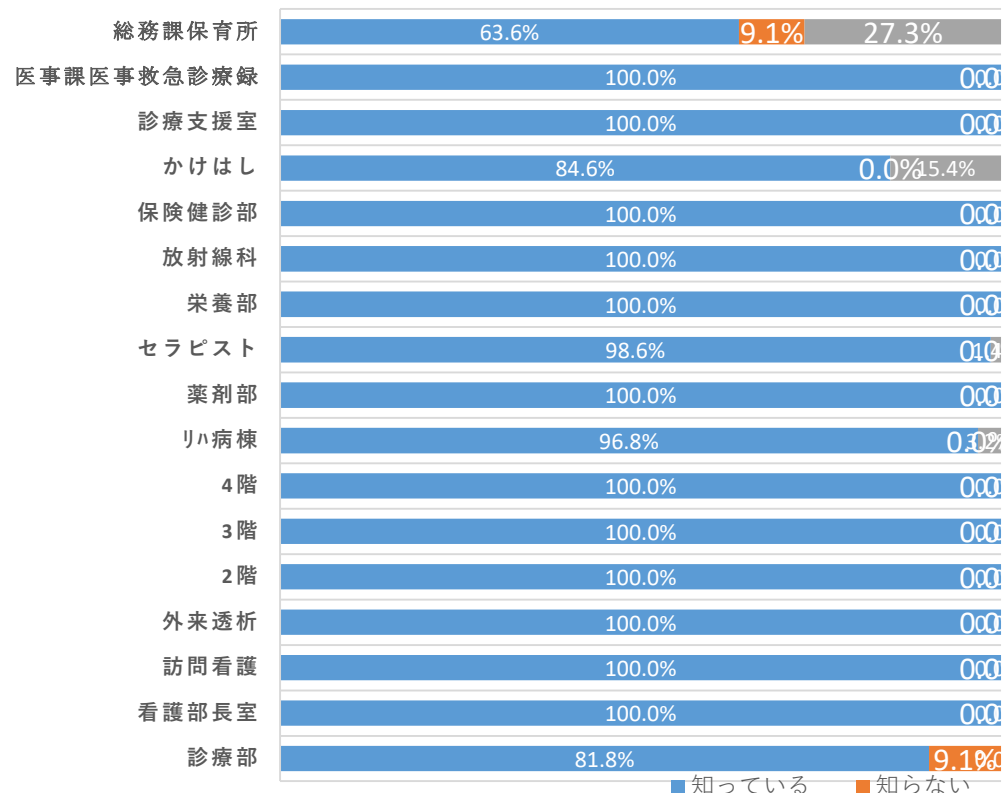
職員共通

①患者に名前を名乗ってもらう活動を知っているか？

平成30年



令和7年

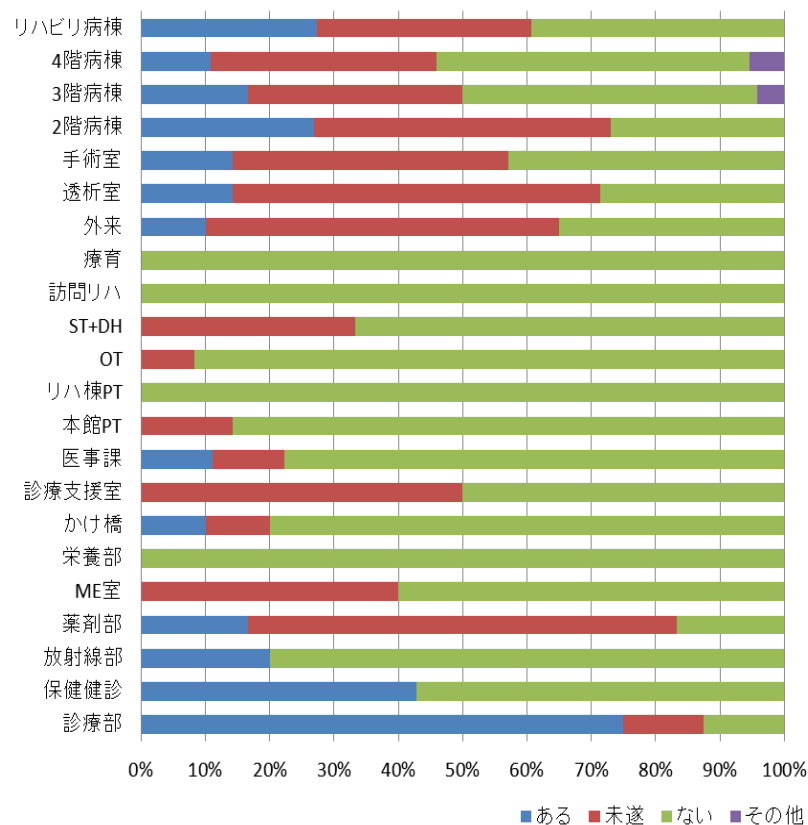


部署数も増加し、一部を除いた全部署の認知度は100%が多くなっている。
(知らないスタッフは数名)

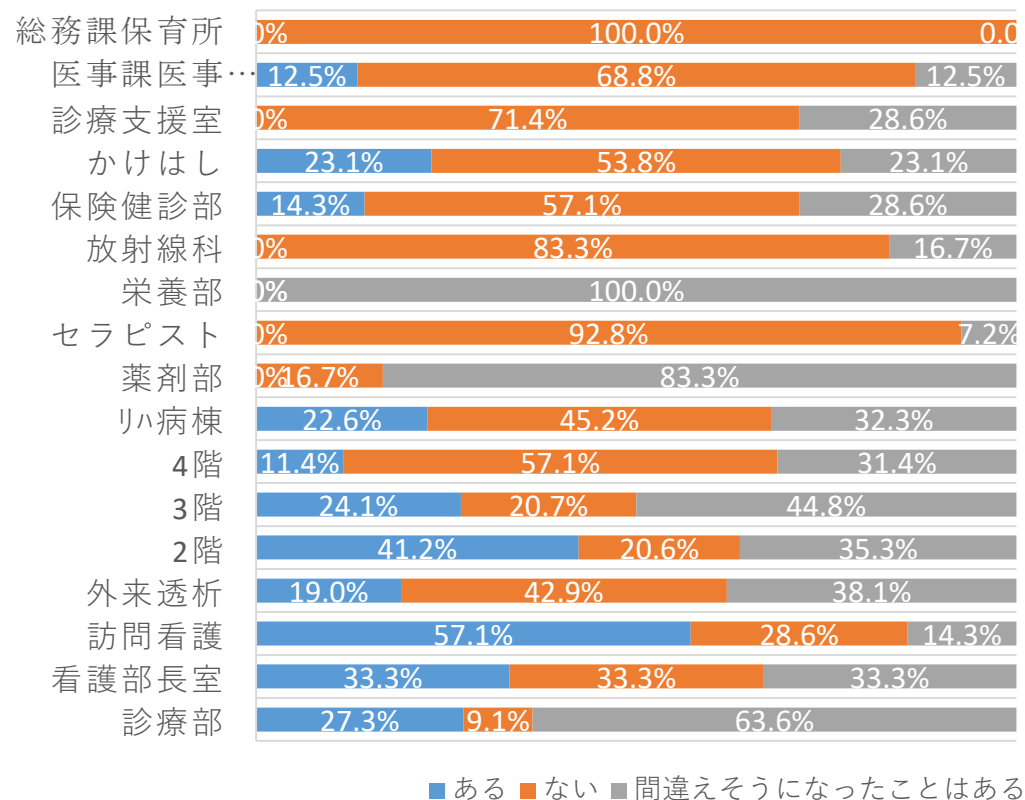
職員共通

②今まで患者の名前を間違っ診察や検査・処置・投薬等をしたことがあるか？

平成30年



令和7年

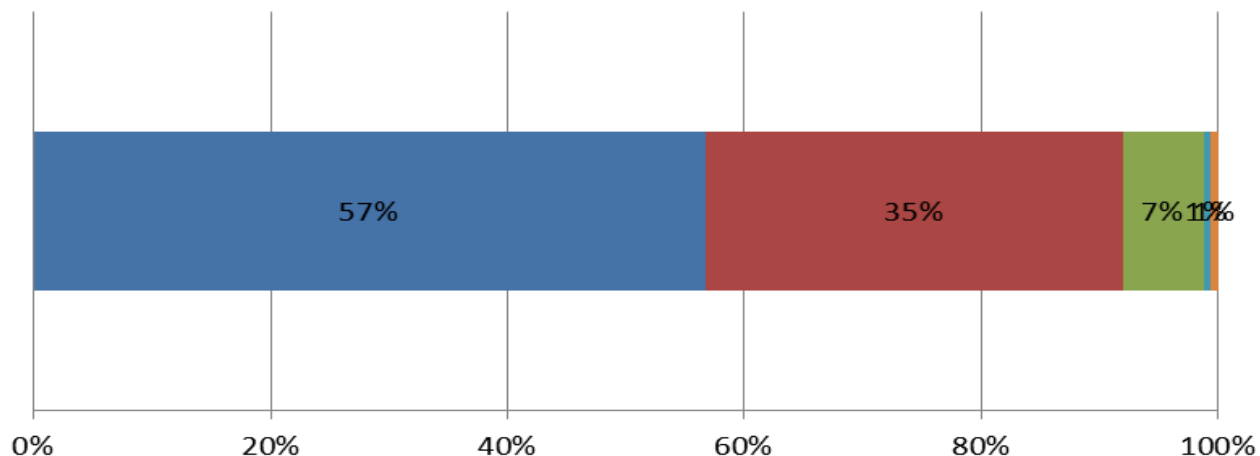


コメディカルの誤認件数は少なく前回同様、診療部では誤認が減少し未遂が増加・看護部は未遂もふくめて同程度の件数。

診療部・看護部共通

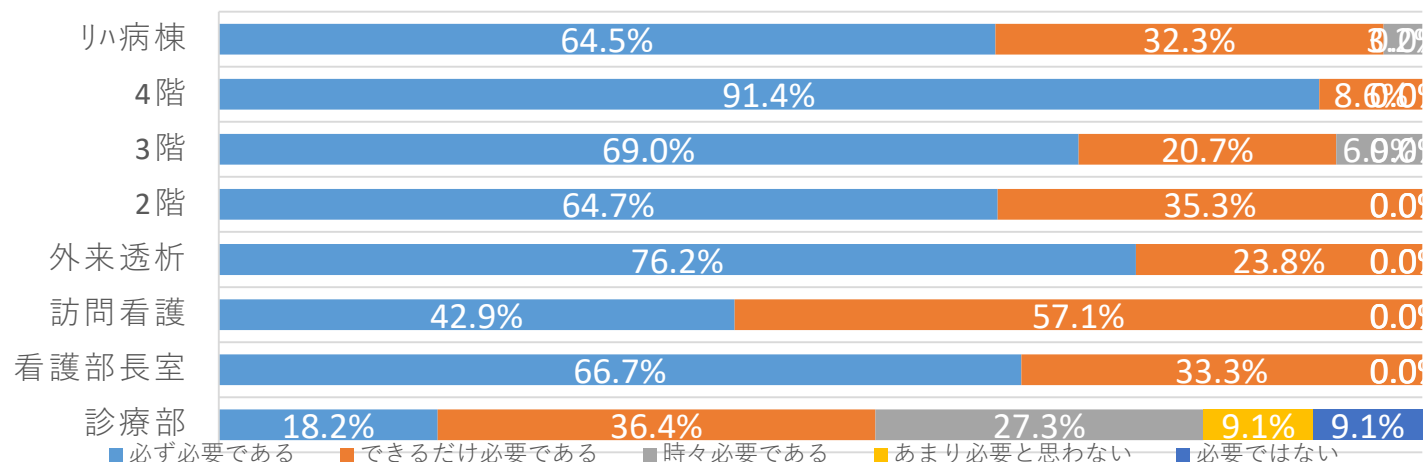
毎回、名前を名乗ってもらうことをどう思うか？

平成30年



■ 必ず必要 ■ できるだけ必要 ■ 時々必要 ■ あまり必要ではない ■ 必要ではない ■ その他

令和7年



■ 必ず必要である ■ できるだけ必要である ■ 時々必要である ■ あまり必要と思わない ■ 必要ではない

看護部は名前を毎回名乗ってもらうことに必要性を感じているが診療部は一部必要ではないという回答あり。

まとめ①

- 患者側：①名前を名乗ってもらう活動を知っている人は前回調査より減少
- ②間違えられそうになった、間違えられた患者は減少し、98%の患者が間違えられていない
- ③ 名前を聞かれることは「安心」、「なんとも思わない」が97%を大半を占めている→患者確認は定着している
- ④名前を確認される場面は増えており、検査、処置では100%聞かれている

まとめ②

- 職員：①名前を名乗ってもらう活動はほぼ100%、全職員に周知されている（知らないスタッフは数名）
②コメディカルの誤認は少なく、診療部の誤認も減少。
③看護部は未遂も含めて前回調査と同程度の件数
④毎回名前を名乗ってもらう活動の必要性は一部を除き「必要」と認識されている